

建設工事等の契約の内容に係る情報の公表

【平成26年度以前契約：平成27年度変更契約分(確定版)】

※契約締結日の属する年度の次年度以降に、契約金額の変更を伴う契約の変更を行った案件について掲載しています。

発注機関：可茂農林事務所

工事(委託)番号	工事(業務)名	施工場所	工事(業務)種別	契約の相手方の商号又は名称	契約の相手方の住所	契約締結日(変更契約締結日)	施工(履行)期間	契約金額(円)	工事(業務)概要	変更理由	変更回次
可池第2602号	県営ため池等整備事業 可茂北部地区 牧野池第1号工事	美濃加茂市牧野地内	土木一式工事	(株)日進建設	岐阜県美濃加茂市 下米田町為岡88番地	平成26年11月28日	平成26年11月28日～ 平成28年2月29日	115,560,000	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=5,840m ³ 斜樋工 L=4.9m、底樋 L=32.8m、洪水吐工 L=29.0m	-	当初
						平成27年5月19日	平成26年11月28日～ 平成28年2月29日	114,193,800	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=5,840m ³ 斜樋工 L=4.9m、底樋 L=32.8m、洪水吐工 L=29.0m	盛土材の不足分を購入していたが、山之上浄水場の土が適することが確認できたため、使用することによる変更 現場発生土を改良し盛土材として利用する計画であったが、残土処分する 堤体上流部を掘削した結果、地盤支持力が不足したため置き換える	1回目
						平成28年2月4日	平成26年11月28日～ 平成28年2月29日	117,553,680	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=6,463m ³ 斜樋工 L=4.9m、底樋 L=32.8m、洪水吐工 L=29.0m	仮設道路用盛土を他のため池工事へ流用することとしていたが、調整の結果、次年度以降の施工となり、受入困難となったことから残土処分する。	2回目
可環第2602号	環境保全モデル事業 作業道補修等工事	可児市久々利(我田の森)地内	土木一式工事	丸重産業(株)	可児市広見5-78	平成27年2月4日	平成27年2月4日～ 平成27年3月25日	14,580,000	作業道補修(路側ブロック積) L=16.0m A=40.4m ² 作業歩道設置 L=1,086.9m 木製階段工設置 N=367基 電気配線設置工事 1式 水道管設置工事 1式	-	(当初)
						平成27年5月15日	平成27年2月4日～ 平成27年5月20日	13,952,520	作業道補修(路側ブロック積) L=16.0m A=40.4m ² 作業歩道設置 L=869.0m 木製階段工設置 N=504基 電気配線設置工事 1式 水道管設置工事 1式	・横断溝位置の変更に伴いL型側溝を増す。 ・作業道路盤が軟弱なため良質土を敷設する。 ・現地精査により木製階段工を増す。 ・木くずが現場内で処分できたこととなったため処分費を減する。 ・建築工事との調整により電気配線設置工事の材料費を減する。	2回目
可ふ第2601号	県営ふるさと農道整備 事業 白川地区 第1号道路工事	加茂郡白川町白山地内	土木一式工事	大脇建設(株)	加茂郡白川町河岐1897-1	平成26年9月26日	平成26年9月26日～ 平成27年3月20日	60,480,000	道路工 L=59.7m 掘削V=2113m ³ 、盛土V=1923m ³ 補強土壁工 A=311m ²	-	(当初)
						平成27年3月19日	平成26年9月26日～ 平成27年6月10日	60,480,000	道路工 L=59.7m 掘削V=2113m ³ 、盛土V=1923m ³ 補強土壁工 A=311m ²	・地元からの交通解放等要望に基づき工期延期する。	1回目
						平成27年6月1日	平成26年9月26日～ 平成27年7月31日	62,159,400	道路工 L=59.7m 掘削V=2113m ³ 、盛土V=1923m ³ 補強土壁工 A=311m ²	・掘削時の土砂流出防止のため、大型土嚢を設置する。 ・根株処理費を増す。 ・降雨等による工程見直しにより工期延期する。	2回目
						平成27年7月27日	平成26年9月26日～ 平成27年8月14日	62,159,400	道路工 L=59.7m 掘削V=2113m ³ 、盛土V=1923m ³ 補強土壁工 A=311m ²	・降雨等による工程見直しにより工期延期する。	3回目
可治第2616号	公共 予防治山事業 黒淵谷工事	加茂郡東白川村越原 字黒淵地内	土木一式工事	(株)立保土木	加茂郡東白川村越原1351	平成27年3月30日	平成27年3月30日～ 平成27年8月25日	29,160,000	谷止工(コンクリート) L=45.5m H=7.5m B=2.0m V=367.8m ³ (全体1,148.0m ³)	-	(当初)
						平成27年8月18日	平成27年3月30日～ 平成27年10月30日	32,541,480	谷止工(コンクリート) L=45.5m H=7.5m B=2.0m V=367.8m ³ (全体1,148.0m ³)	・盛り土法面について、現地精査の結果、植生シート工の材質を変更する。 ・工事用車両の通行により既設コンクリート路面工が破損したため、コンクリート路面工を増施工する。	1回目

可治第2614号	県単治山事業 高木山工事	美濃加茂市山之上町 字高木山内	土木一式工事	(有)本多建設	美濃加茂市古井町下 古井2554	平成27年3月30日	平成27年3月30日 ～ 平成27年7月31日	9,925,200	土留工(コンクリート)1基 L=13.5m H=3.0m V=30.8m3 土留工(ブロック) L=7.5m H=2.0m A=10.9m2 土留工(かご枠) L=11.0m H=1.5m A=12.5m2 水路工(植生土のう) L=27.9m 筋工(丸太) L=108.2m 暗渠工(結束管) L=11.8m 伏工(植生マット) A=461.0m2	-	(当初)
						平成27年7月3日	平成27年3月30日 ～ 平成27年9月30日	10,497,600	土留工(コンクリート)1基 L=13.5m H=3.0m V=30.8m3 土留工(ブロック) L=7.5m H=2.0m A=10.9m2 土留工(かご枠) L=11.0m H=1.5m A=12.5m2 水路工(植生土のう) L=27.0m 水路工(ベンチリュウム) L=12.0m 暗渠工(結束管) L=11.9m 伏工(植生マット) A=571.3m2	・水路工において、既設側溝を復旧する必要があるため、ベンチリュウム水路工が増となる。 ・筋工において、地山勾配が急なため杭木の建込が困難であるため減となる。 ・法面清掃の結果、伏工面積が増となる。	1回目
可池第2号	県営ため池等整備事業 可茂南部1期地区桜た め池第1号工事	可児市大森地内	土木一式工事	小池土木(株)	可児市広見5-77	平成25年9月24日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	273,000,000	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=20,111m3 張ブロックA=3,337m2 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	-	当初
						平成26年5月9日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	278,361,120	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=20,111m3 張ブロックA=3,337m2 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	・底樋工について、底樋管を堤体上下流からクレーンによりつり込みする計画であったが、下流側の進入路は狭く、路肩が弱いなどクレーン搬入が困難なため、開削部分を広げ底樋の側法に仮設道路を設け、作業することによる掘削及び埋戻しの増。 ・現地再調の結果、立木伐採区域における根株等の処分量の増に伴う抜根、運搬、処分費の増。	1回目
						平成26年10月8日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	279,558,840	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=20,111m3 張ブロックA=3,337m2 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	・ため池を落水したところ、堤体上流側盛土法先部の基礎地盤に泥土が堆積しており、盛土の安定性が確保できないことから、固化材による安定処理工V=849m3を施工する。 ・洪水吐工の流入部について、本体保護のためブロック積を施工する計画であったが、現地調査の結果、洗掘の恐れのないことからブロック積A=62m2を不施工とする減。 ・既設洪水吐の取り壊しについて、有筋コンクリートを想定していたが、玉石交じりの無筋コンクリートで特殊な処分が必要となったため、処分費を変更する。V=134m3	2回目
						平成27年3月19日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	280,596,720	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=20,281m3 張ブロックA=3,337m2 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	・堤体法面保護工(張ブロック)の裏詰め砕石の厚さについて、施工指針が15cmに統一することとなったことから、20cm→15cmに変更するA=3,337m2 ・堤体盛土の流用する現場発生土について、自然含水比が高く、必要な密度での締固めが困難なことから、仮置き場において天日乾燥するための攪拌を施工することによる増。	3回目
						平成27年10月28日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	278,604,120	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=18,628m3 張ブロックA=3,337m2 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	・ため池堆積土の処分について、堤体法先において盛土の安定性を確保するため、安定処理を行ったことにより不施工とする。また、張ブロック工について、既設ブロックを再利用することとしていたが、一部破損等があり再利用が困難なことから購入品利用とすることによる増。	4回目
						平成28年2月3日	平成25年9月24日～ 平成28年2月26日	285,786,120	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=18,588m3 張ブロックA=3,297m2 斜樋工 L=36.8m、底樋 L=80.2m、洪水吐工 L=91.1m	・工期内に急激なインフレーションが生じ、請負代金が著しく不適当となったことから、工事請負契約約款第25条第6項に基づき請負金額を変更する。 ・艇長部の盛土材が粘性土で、降雨時に軟弱な状態となることから、維持管理の作業性の向上及び安全確保のため、砂利舗装を追加施工する。	5回目

可池第2602号	県営ため池等整備事業 可茂北部地区梅洞ため池第1号工事	加茂郡川辺町下飯田 地内	土木一式工事	塚産業(株)	美濃加茂市本郷町3丁 目16番地7	平成26年8月15日	平成26年8月15日～ 平成27年12月15日	64,800,000	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=2,655m ³ 斜樋工 L=12.3m、底樋 L=34.3m、洪水吐工 L=25.0m	-	当初
						平成27年3月20日	平成26年8月15日～ 平成27年12月15日	69,320,880	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=2,666m ³ 斜樋工 L=12.3m、底樋 L=34.3m、洪水吐工 L=25.0m	・当初岩盤層を軟岩1と想定していたが、掘削の結果、亀裂の少ない硬岩が確認されたため岩質を中硬岩に変更する。 ・左岸切土法面掘削の結果、転石の点在と法面の部分崩落の恐れがあることから、安全性の確保のため、ラス張を併用した植生吹付及びモルタル吹付に変更する。	1回目
						平成27年12月2日	平成26年8月15日～ 平成27年12月15日	78,900,480	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=2,699m ³ 斜樋工 L=12.3m、底樋 L=34.3m、洪水吐工 L=25.0m	・旧堤体土が想定より含水比が高く、強度を増しての再利用が困難となったため、他地区から採取することに変更したことによる運搬費等の変更。 ・堤体の岩盤線の変更に伴う土工量の変更。 ・旧堤体土を他工事へ流用する予定であったが、土質状況が不良であったため、残土処分することに変更	2回目
可池第2604号	県営ため池等整備事業 可茂南部2期地区登立 ため池第1号工事	可児郡御嵩町顔戸地 内	土木一式工事	(株)御嵩重機建設	可児郡御嵩町比衣地 内	平成26年11月7日	平成26年11月7日～ 平成27年11月16日	46,904,400	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=1,788m ³ 斜樋工 L=8.2m、底樋工 L=21.3m、洪水吐工 L=16.5m	-	当初
						平成27年3月16日	平成26年11月7日～ 平成27年11月16日	45,803,880	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=1,790m ³ 斜樋工 L=8.2m、底樋工 L=21.3m、洪水吐工 L=16.5m	・残土について、御嵩町地内の処分場を予定していたが、ため池に隣接する土地の所有者より残土での嵩上げについて協力が得られたことから処分地を変更する。 ・堤体法面保護工(張ブロック)の裏込め砕石の厚さについて、施工指針が15cmに統一することとなったことから、20cm→15cmに変更する。A=256m ²	1回目
						平成27年11月5日	平成26年11月7日～ 平成27年11月16日	44,561,880	ため池改修工 一式 堤体盛土 V=1,790m ³ 斜樋工 L=8.2m、底樋工 L=21.3m、洪水吐工 L=16.5m	・ブロック積工において、堤体下流側に排水路を設置する計画であったが、管理者より管理用道路の要望があり発生土により計画したが、ブロック積が埋没することから不施工とする。 ・洪水吐、取水施設工の基礎地盤について平板載荷試験により確認する計画であったが、必要支持力が小さいことから簡易試験とする。	2回目
可治第2615号	公共 復旧治山事業 手掛岩工事	加茂郡東白川村越原 字手掛岩地内	土木一式工事	(株)立保土木	加茂郡東白川村越原1 351	平成27年3月30日	平成27年3月30日 ～ 平成27年10月15日	56,916,000	谷止工(コンクリート) 板枝谷 L=55.5m H=11.0m B=2.0m V=345.4m ³ (全体1,974.0m ³) 前庭保護工 井の洞谷 一式 付替道 一式	-	(当初)
						平成28年2月5日	平成27年3月30日 ～ 平成28年2月29日	62,499,600	谷止工(コンクリート) 板枝谷 L=55.5m H=11.0m B=2.0m V=447.6m ³ (全体1,974.0m ³) 前庭保護工 井の洞谷 一式 付替道 一式	・谷止工において、土砂流出を防止するためコンクリートを増施工する。 ・前庭保護工において、大型コゴ棒工が地山への取付が不足するため増施工する。また、盛土法面を早期緑化するため、植生マット工を施工する。 ・付替道において、降雨時に土砂が流出する恐れがあるため路面工及び排水工を施工する。	1回目